



導入事例 | 不動産コンサルティング

高層階フロアに免震装置 OCTO-Base™ を導入、 新設のサーバラックの安全性をさらに強化

課題／導入の目的

大切なデータが保存される新しいサーバを、大地震から守ることが必要でした。弊社の顧客である、不動産コンサルティング会社の本社ビルにあるサーバ等を、別のビルへ移転させる計画に伴い、機器保護のために免震設備の導入を検討したところ、入居予定のビルは建築年数が経っているため、建物の耐震性に不安がありました。また、比較的高層階(7階)ということもあり、そもそも免震導入が可能なのか、できたとしても将来問題はおきないのか?という疑問がありました。真に安全、安心な免震システムをユーザへ提供したかったのです。

Black Box からの提案／導入効果

東日本大震災級の地震にも耐えられるシステムを提供
ラック、KVM スイッチ、ラックマウントコンソールモニタ、UPS、サーバ設置を一括対応した Black Box が、免震装置 OCTO-Base™ の導入の提案をしたところ、諸所の課題をクリアできるならばぜひ依頼したいと言っていました。
設置フロアは7階のため、本来 ISO-Base™ での対応も可能ではあるものの、今回は建物耐震性と階層を考慮し、通常タイプの ISO-Base™ に比べ免震性能が向上した OCTO-Base™ を提案することで、全ての課題はクリアできました。地震は予測不可能で、ともすれば明日来るかもしれません。OCTO-Base™ の導入により機器の安全は確保され、倒壊の不安を削減することができました。

顧客：
大手コピー機メーカー
納入先：
不動産コンサルティング
所在地：
東京 銀座
業種：
コンサルティング
ソリューション：
KVM 震災装置
設置サービス

< 導入時写真 >



プレートは特殊コーティングにより
耐久性と抑制力が向上しています



OCTO-Base™ が組みあがり
ボールを挟むだけのシンプルな構造です



ラックを載せて完成です
面倒なボルト固定は必要ありません

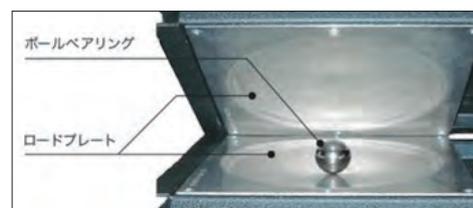
標準製品 ISO-Base™ よりもハイスペックな最新製品 OCTO-Base™

OCTO-Base™ は ISO-Base™ に比べ揺れへの可動範囲が広く、10階以上の高層階など揺れ幅が大きくなる場所での使用に適しています。また、ロードプレートの保護と揺動の抑制を目的として、OCTO-Base™ のロードプレートには QuakeCoat という名称の保護膜を塗布しています。この Quake Coat の作用により摩擦が生まれ、揺動の対向方向に約14%の加速度が抑制力として働くので、ISO-Base™ のステンレス製のロードプレートと比較して、地震による揺動は更に抑制されます。



ISO-Base™設置例

OCTO-Base™ は2017年2月リリースの製品です。ISO-Base™ よりも機能性を高めた分、今まで免震を諦めていた高層階オフィスにも安心して導入いただけます。



参考：標準 ISO-Base™
Ball-N-Cone™ 除震ベアリング構造図

<OCTO-Base™ からみたISO-Base™ との製品比較結果>

比較項目		ISO-Base™	OCTO-Base™	比較結果
ロードプレートの面積		333cm ²	923cm ²	約3倍
耐荷重 (1プレートあたり)		通常340kg (ベアリング 直上450kg)	1,000kg	約3倍
荷重・可動領域	ロードプレート寸法	266mm	381mm 八角形	約1.4倍
	ベアリングの直径	38mm	57mm	約1.5倍
	確保すべき可動範囲	210mm	350mm	約1.7倍
免震性能	実験結果 東日本大震災の波で加振	フル可動	余裕の対応	-

(CTCSP社資料より参照)